

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	運転員が車輪止めに気付かず、消防車を発進させたため、車輪止めが隊員に当たりかけたもの
3. 体験した事例の中心的要素	消防車等の走行前に車輪止め、タイヤ及び扉閉鎖状態等の安全確認をせずに車両を発進させたため、発生したもの
4. 体験した事例の原因・理由	1 運転員が自ら車輪止めをしないこと 2 運転員が走行前の点検を実施せず、車輪止めの確認をせずに発進したため、発生したもの 3 車輪止めをした職員との意思疎通不足

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	----------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年10月14日 9時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎敷地内
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	その他：、[] []
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：車両の移動時(別の場所への駐車のため)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

車輪止めはしていないだろうと思いこみがあり、走行前の点検が疎かであった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

行動

--

平成22年10月14日 9時頃

消防車の右後輪の車輪止めに気付かず，運転者が消防車を発進したため，車輪止めが飛び，付近の者に当たりかけたもの

